

「サマーコール」ナガノ

好き……。

ああ違つ、や、やつほー。愛だよ。えへへ……つい本音が出ちゃった。だつてだつて、……好きなんだもん。

あ、今ね、親戚のおうちに遊びに来てるんだ。

そうそう、いつかお話ししたお兄さんの実家だよ。そう、長野県です！

ええとね、東京から……四時間くらい高速道路を走ったかな。遠かったよ。

でも、景色はすっごく綺麗なんだ。なんというか、緑、緑、緑って感じなの！

山がね、ぼあーって。連峰っていうのかな。とにかくね、すごいんだよ。

それでね、田んぼ、田んぼが！ たっくさんあるんだ。あとで写真撮って送るね！

あー、それにしても暑いなあ。

そうそう。お友達がね、「都会の夏と田舎は違った暑さだー」って言ってたけど、本当にその通り。

気持ちの良い暑さっていうのかな。夏を全身に感じてるって感じ！

……へ？

テンション高い……かな。そうかな……？

あわわわ、急に恥ずかしくなってきた。べ、別にそんな、いつもの私だからね。

ほら、いつも通り！

……いつも通りの私って、どんな私……？

そう思うと私、いつも君にどんな風に思われてるのかな……？

えっと、教えてくれるとうれしいな……。

……ふん、ふんふん、ふむ……。

え、ええええつ。地味……？ あう……まあそうだよ、私は地味だよ……うん。

そ、そういうのじゃなくてさ、ほら、えっと。

ほえっ！？ ……あ、ああ、あう。そういうさ、事をさ、……まあいいや、もう。

……んんん……つ、ぷはあ。海もいいけど、山もさわやかで素敵だなあ。

あ、でもね、残念な事がひとつあるの。とっても残念な事だよ。

何だと思う？ もし正解したらご褒美あげちゃうよ。分かるかなあ？

制限時間は十秒だよ。いい？ いくよ。

じゅーう、きゅーう、はーち、なーな、ろーく、ごーお、

よーん……さーん……にーい……いーち……

……分からないの？ むうう……おばか……この鈍感……。

もういいもん。ゼー……ふえッ。

あ、う、うん、せいかい……です……。

君がそばにいない事……とっても残念……なんだけど、あはは……

当てられちゃったら、それはそれでなんかこう、むずがゆいね……。

へっ。あ、ご、ご褒美か。そっか。うん。

ええと、うん……いつも頑張ってる君に、私から……

い、癒しの……黒崎ビームっ！ ぴびぴび……♪

……。

……だめ？

えっ、元気出た？ やったあ！ うふふつ、嬉しい。

えー？ ダメだよ、ダメダメ。ビームは一日一回しか出ないの。

それも夏だけだよ。夏季限定なの。……ふふつ。

じゃあ今度してあげるね？

ああ、きつと君と一緒にだったらもつともっと楽しいんだろなあ。

そうだ、今度さ、旅行しようよ。夏のうちにどこかに行きたいな。

あえっ。車……出してくれるの？ あ、ありがとつ。

えへへっ。私たち大学生になったし、お父さんもお母さんも、

もう運転は危ないとかお泊りはダメーとか言わなくなったもんね。

君と一緒に大人の階段のぼってるみたいで……うれしいな。

へっ？ どうかした？

おとなの、かいだん……うん。それが……？

……あああああッおばかおばか。そ、それは、その、そういう、

ダメだよそういう話は！ まだお昼だよ？ ダメダメダメッ。

えっ……ええええいやいやいや、夜だったら良いとか、

確かにまだお昼とは言ったけど、そんな意味じゃなくてえ！

もおおつ。家族に聞かれたらどうするの。怒っちゃうぞ。

私たち、まだ未成年なんだから。そういうのはぶつぶだから！
だからその……ひゃっ——お、お父さん！？

あああああちがつつがつ、違うよ、お昼は暑いけど夜は涼しいって話！

他愛ない話をしてたのっ！ うん、そうだよ。あははは……。

スイカ？ は、はい。今行くから待っててね。

あつ、もしもし！

ごめんね、呼ばれちゃったからまたあとでお話ししようね。

……聞かれちゃったじゃん。

お父さんすぐくニヤニヤしてたよ、この……すけべっ。

きらきら星の飛沫

もしもし。愛だよ。

あ、うん。ちょっとお散歩してるの。

みんな酔っぱらっちゃってね。お母さんに行っておいで、って。

気を遣われちゃった。

……うん。暗いけど、君の声を聴いてると隣にいるような感じがして……えへへ。

それに月明かりが綺麗だからさ、ちゃんと道も見えるよ。

心配してくれてありがとう。

なんか田舎の夜って、ひとの生活音がないんだね……。

虫やカエルの声はBGMみたいだし、逆に落ち着かない感じ。

えっ。だ、大丈夫だよ。電話に夢中で田んぼに落ちるなんてそんな、

とってもおばさんじゃん。私ってそんなドジに見えるの？

もー。君だってほら、何もないところでつまづいたりしてた事あるでしょっ。

あわてんぼさんなんだから、私の方がいつもひやひやしてるんだからね？

うふふっ。ドジ♪ あはははっ。

……。ほんと、静かだなあ。車もひともいない、ただ田んぼと山だけ……。

……。ねえ。こうしているとね、まるで世界に君と私しかいないって思えるんだ。

もし世界から君がいなくなったら……って思うと怖いけど、
君さえいれば私は……生きていける。とっても幸せに……。

こんな闇の中でも、君は……あの月みたいに輝いて見えるんだろうなあ。

……うう……。好き……。

我慢しよかなって思ってたけど、やっぱり言っちゃった♪

すきすきすきすき。だいすき。

君も好きって言って。

……はああ♪ うん、私も好き……。

ふえ。そ、そんな、まあ確かに誰もいないからっていうのもあるけど。

あつ。だ、ダメだよ、すけべな話はダメ！

……なんて声出してるの、もおお。昼だからとか夜だからとか、

関係ないってば。そういう気分のときにそういう話をするものでしょっ。

へっ。そ、そういう気分……って、だああらっ！ このへんたいっ！

デリカシーなさすぎだよ、君は。愛の顔も三度までなんだよ？

いくら君でも……いくら好きで好きで好きでたまらない君でもさっ、

限界はあるんだよ？

……うう。た、たしかに最後には許しちゃうかも……だけど……。

ああ……君の言葉には逆らえないんだなあ、私……。

いや、こんな私じゃダメだ。だって、決めたもんね。

君に依存はしない。私は君と対等に生きるんだって。

たとえ君が、君が……あまい言葉で誘惑してきたって、ま、負けないよ。

黒崎愛、強くなります！ もうへこたれません！

……まあ、具体的に何がどうだとかはないんだけどね、あはは。

(打ち上げ花火)

わあ。

聞こえた？ 花火だよ、花火っ。どこかでお祭りやってるのかな。

……君と見た花火……綺麗だったなあ。

覚えてる？ 君がさ……花火より愛の方が綺麗だよ、って……言ってくれたの。

私あの時ね……恥ずかしいのと嬉しいのと、

色々な気持ちがめちゃくちゃになっちゃってさ……。
俯いて、君の手を握る事しか出来なかったけど……。

今度は、今度こそは君の顔を見て……答えるから。

って、なんで君に宣言しちゃってるんだろぅね。おぼかなあ、私。

でもあの瞬間は……本当にもう、……心臓張り裂けそうだったよ。

お祭りの喧騒も花火の音も消えて……君の声しか聞こえなかった。

君の姿しか見えなかったんだよ。

……もう、君に……私の全てをもらってほしいって思った。全てを……。

……あつ……。

えへ……こういう時にそれ言われちゃうと、いつもよりドキツとするなあ。

ん……しょ。

すごい星だめ。空気が澄んでるからかな。眩しいくらい光ってる。

……宇宙は広いんだろうなあ。でも、私にとっては狭いよ。

どれだけたくさんの世界があっても、

君がいるのは、私がいるのは、この地球だけ。

ここに生まれてよかった……。君と出会えて……本当によかった。

きらきら星……って歌、憶えてる？ 懐かしいなあ。

小学校でよく歌ったんだ。……あ、君も？ うふふつ。

私の学校は朝の会って名前だったよ。大きな古時計とか、いろいろ歌ったな。

……きーらーきーらーひーかーる♪ おーそーらーのーほーしーよ……♪

えへへ。へたっぴだから、合唱は苦手だったの。

ええ……？ そ、そんな事ないよ。へたっぴだってば。

音楽の授業だって、恥ずかしいからあんまり声張れなかったしさあ……。

あ、でもでも、卒業式だけは全力で歌ったんだよ。

君と出会えたあの学校に、あの日々に……ここから感謝して、歌った。

泣いちゃったのは……どうしてだろうね。

あの時もいろーんな感情がごちゃ混ぜになっただけ……

これだっていう理由はないと思うの。

そういえば君は、泣いてなかったね。強いんだな、って思ったの覚えてる。

……悲しくなかったの？ 友達と過ごした場所を離れちゃう事……。

………そっか。そうなんだ。やっぱり君は……私の想像の上を歩いてるなあ。

その生き方や考え方が……私、大好きだよ。すごいと思うし、尊敬するし、

とっても……愛おしくて。

そんな強い君に選んでもらえた事が……大切で、温かい。

……今、君に触れられないの、とっても切ないなあ、もう。

あつ。な、流れ星っ！

綺麗え……じゃなくてっ！

えええええとええとえとツ、君とずっと一緒に過ごせようにつ！

ずっと！一緒に！過ごせようにつ！

ずー……と、一緒に……！……間に合ったかな……？

ふえつ。セ、セウト！？なにそれセーフなの？アウトなの？どっち！？

だってだって、速すぎるもん！あんな一瞬で願い事なんて言えないよお。

うう……スターダスト、ショッキング黒崎……。

ん……？ どうかした？……うん。……うん。

そうだね。君の言う通り。星や神様にお願いだなんて、意志が弱いんだ。

ひと任せじゃなくて、願い事は自分で叶えなきゃダメだね！

よおおし、黒崎愛ツ、決意を新たに……明日に向かってふあいおあひああああ

あああああああああッ！！（バシャーン）

☺微熱より酔狂

あははー……もしもし、愛だより……。

蒸し暑いよ……もう汗びしょびしょ……。

あ、う、うん……大丈夫、大丈夫。昨日の事は……もう言わないで。

まさか本当に田んぼに落ちこちるなんて……心配かけちゃってごめんね。

身体もお洋服もびちゃびちゃになっちゃったけど……でも、

スマホだけぼちゃりしなくてよかったよ……ほんとに。

君との電話をおあずけなんてそんな、残酷すぎる仕打ちはご勘弁です……。

って、身から出た錆なんだけどね、あはは……。

あ、でもね、いざとなれば君の携帯も家電話も番号を覚えてるからね。

親戚の電話からだとお金がかっちゃうから……電話ボックスからかけるもん。

……たぶん生涯でいちばん十円玉を消費するひとときになりそうだけど。

え？ うん。君の情報はゼーンぶ知ってるし、記憶してますよー。

ん？ ーと、生年月日とか住所とか、好きな色とか、苦手な食べ物とか……

足のサイズ、身長、体重、血液型……

あとは一日に行くお手洗いのかいすああ違う違う違う、言い間違えた。

ていうか違う。全て違うから。今の忘れて。何かと間違えただけだから。

ち・が・う・か・ら。

うん、よろしい。……忘れてね？ 見てるからね、ずっと……ふふ。

あーあはは……暑くて頭が変になっちゃってるのかなー。

(ごくごくくつ)……ふうう。

あ、ありがと。ちゃんと水分とってるよ。逆にとりすぎて汗かいてるのかも。

……汗っかきだからね、私(小声)。

ううん何でもない。……冷房？ あ、この部屋は置いてないから、

扇風機でなんとかしのいでます。

だって皆にお話聞かれたくないもんっ。恥ずかしいもんっ。

え、そ、そりゃあ、いつか一緒にお話する事もあるだろうけどさ。

まだなんか、その、……君を独り占めしたいのっ。

君と過ごす時間に誰かを介入させたくないのっ。……ううはずかしい。

もう、体温上がっちゃうからやめてよ……。あつつい……。

あうー……今日ばかりは海に行きたいなあ。君と二人で……。

んー……？ みずぎ……？ そうだね、水着……。

あつ……！ い、いつかのああいうのはもうしないからねっ。絶対！

あれだよあれ。君の部屋で、……み、水着に着替えて……(小声)。

あんなのハレンヂだよっ、すけだよっ。

いいですか、水着はプールや海で着るものです！ 分かりましたか？

……うん、……本当に分かってる？

分かってないよね、それ絶対分かってない時の返事だよ。もうっ。

確かにさ……あれは君に見せる為に……買ったものだけど。

あああなしなしなしっ、今のなしっ。

そ、そんな事よりほら、旅行のお話進めようよ。ねっ。

ええと、そうだなあ。私、あんまり観光地とか詳しくなくて……。

……温泉？ いいねえ、温泉。露天風呂とか好きだなあ……。

サウナ……は、ちょっと苦手。なんか、暑くて怖いから……。

えっ。す、すごい。そんなに長く入っていられるものなんだ？

へええ。……君と一緒にだったら私も……いやいやいや、絶対ムリ。

むしろ熱暴走しちゃうよ。壊れちゃうよ私。

へ……？ あっ、ああああ、そんな意味で言ったわけじゃ……。

こっこここ混浴なんて、もおっ！

今日の君はスケベすぎるよっ。こ、こら、言い訳しないの！

えっ。……そ、それ、ずるい。……私だって、うん……君と、

一緒にお風呂……入りたい……よ。

~~~~~ツ……。

おわり！ もう店じまいだよ！ ほら、旅行でしょ旅行！

そうだっ、海の目の前に泊まれるところってあるかな？

オーシャンビューっていうやつ。ああいうの憧れてるんだ。

伊豆？ 静岡……だよ。海がとっても綺麗なところ。

うん、確かに長野よりは近いかも。……いいなあ、行きたいな。

連れてってくれるの……？ 嬉しい♪

海か。海鮮井とかあるかなあ。食べたいなあ。

えっ、な、なにそれ！ 私そんないつもご飯の話してないよ！？

なにもう！ まるで食いしん坊みたいに言ってる……！ ぶうーっ！

君だってさー！ 深夜にカップラーメン食べてるじゃん！

不健康の極みだよ、極み！ そんなんじゃ身体壊しちゃうよ！

イヤだよ私、君が病気になるなったりしたら……心配で死んじゃうから。

……健康管理も……私がするべきだなあ……。 (小声)

ん？ いえいえ、こっちの話です。

むっ。聞こえちゃった？

でもこれは譲れないよ。……私は、君の……お嫁さんになるんだから。君の体調をしつかりサポートするのは私の役目。

多少苦手なものでも、バランス良くちゃんと食べないとダメだよ？

……一緒に住んで、私が料理を作るようになったら……、

君が食べやすいように、一生懸命頑張るから。だから、君も頑張って？

……うん♪ その返事は、分かっている声だね。えらいえらい……♪

君の毎日を応援する愛です。いつもおそばに置いてください……♪

……たくさん、ぎゅーってしちゃうから。ぎゅーって。えへへへへ。

君もお……ぎゅーってしてえ……？

えへ……えへへへ。しいああわあせえ……♪

……ふあああ……。

へえ……？ 平気だよ、うん。どこおかしいかなあ……？

あー、うん、まあ、ちよつとぼーつとしてるかもー。なんでだろうー。

もしかして水分足りてないー？ ちよーつとまっけてねー。

(ごくっごくっ) ぷはあ……。

えー？ なに？ んー、炭酸のジュースだよー。

しゅわしゅわはちよつぴり苦手だからちびちびって飲んでるんだけどねー、

甘くておいしいから好きかもー。

ほろほろよいよいっていうのー。冷えてておいしいよー。

……え、なんで？ おいしいよー、君にも分けてあげたいなあー。

あは、えへへ。好き、好き、好き好き好き好き。

だいすき、好き、あいしてる、もうたまらないくらい好き。

ぜんぶちょうだい。ぜんぶあげるから、君のぜんぶ、ちょうだい。

君のぜんぶ、愛のものだよ……。

愛の……あい、の……あ……わ……。

……あるえ？ どーしたの、おにーさーん。

ねえーいま好き彼とお話してるの。なんかこう好き好きだいしゅきーって、

温泉がサウナで混浴でおほいおほいって……

あっ。なににするのー！ 愛のほろほろよいよいとっちゃだめー！

だーめーだーよー！ かえしてー！

あああもお。……なんがざあ、お水飲めって言われちゃったからあ、

いったん切るね。大好きだから切る。大好きだから。

ねえほんと好き。好きだよ？ 大好き……また明日、昨日？ あとでね。

♪酔い醒めのち雨アルコール

あっ……ご、ごめん……なさい。

あああのあの……ああ……私、ほんと……とんでもない事を。

どうしよう、どうしよう。

まさかほろほろよいいが、……あああごめんなさいごめんなさいっ。

許してっ……お、怒らないでっ。反省しますっ。してるからっ……。

…………ほ、ほんとっ……？

……うう、怒るどころか私の身体を……やさしすぎるよお、君は……。

うん……昨日の飲み残しが冷蔵庫に入ってたの。

度数が弱いから誰も飲まなかったらしくて、それで……。

ただのオレンジジュースかと思って飲んだのに、おまぬけだなあ……。

……私ね、あんな感じになっても全部記憶に残っちゃうタイプみたいです。

本気で穴に埋まりたい……一生の黒い歴史になりそうだよ。

あんな私の事、嫌いにならない？

……ほんとに？ほんとにならない？……う、うん。信じてるけど。

うううう……でもある意味、不幸中の幸いだったよ。

変な事口走っちゃったけど、取り返しのつかないような事言わなくてよかった。

えっ？ い、いや、別にそんな秘密とかはないんだけどさ、あれだよ、

思ってもないような変な事、うっかり口滑らせちゃったりしたら……さ。

言葉って、救いにも絶望にも変わるものだし。

災いの元って言うくらいだもんね。心から安心しました……はあ。

体調管理がどうか偉そうな事言っておいて、私ったら……。あ、は、はい。そうだね、くよくよしてても仕方ないよね。ふうー。

……あれ？

涼しいと思ったら、雨だ。……静かな雨。

あ、初夏に降るのはね、緑雨（りょくう）っていうんだって。

綺麗な言葉だよ。

東京はどうなのかな。そっか、晴れてるんだ。何だか不思議な感じ。

……蛙が嬉しそうに鳴いてるなあ。かわいい♪

でも……蛙って、こんなにたくさんいるんだね……。

げろげろ、げろげろって。まるで合唱みたい。

もしかしたら、季節外れの卒業式をやってるのかもしれないね。

あの低い声は君で……ちよっと声が小さいのが私かな？ ……ふふっ。

え、あ、アルコールは入ってないよ。もう大丈夫だってば。

ああ、でも……うふ。すこし、すこしだけ、夏の夜に酔っぱらってるかもね。

ふふふ、今日の愛はちよっぱり大人です。

いつも君の方が大人っぽいから、たまには良いでしょう？

ほら、おいで？ 今日は私が君を甘やかす番だよ……♪

よーしよし、いい子♪ 今日も頑張ったんだねえ、え・ら・い・よ♪

……あれ？ なんか、いつもと変わらない気がするんだけど。

もしかして普段から私の方が……なのかな？ かな？

へっへーん♪ どうだあ、愛は君より大人だぞ。お姉さんだぞ。

愛お姉ちゃんに何でも言ってるらん？ 何でもしてあげるよ。

あっ……やっぱり、何でもはダメ。取り消し。

なあにその残念そうな声はっ。……君、どうせスケベな事言うもん。

分かってるんだからね？ やれやれだよ、まったくもう。

……ああそうだ。お姉さんで思い出しちゃった。

ほら君、この前サークルの勧誘で、無理やりだけど連絡先交換してたよね。

あの綺麗なお姉さん。……確か、水島さんだったかなあ？

本当に強引で君を困らせてさあ……私、怒ろうとしちゃったんだよ。君だって本心は交換したかったわけじゃないもんね……。え？

ああうん、あの時ちょうど近くにいたから、見てただけ。

君を追っかけてたわけじゃないから。そんな事ないから。ね。違うよ。

ともかくあのひとは危険だよ。もう近づいちゃダメだよ。

だって水島さんの目……君をずっと見てた。あの眼光は……きつと……。

……私の大切なひとをたぶらかそうとするなんて、許さないぞ……。

まったく、少し目を離したら君を狙うひとたちが沸いてくるなあ。

ボウフラじゃないんだから、ぶんぶん。

あれ、声が震えてるけど……だいじょうぶ？ どこか悪いの……？

も、もしかして風邪かな……心配だよ……。

へっ？ 私は大丈夫だよ。正常だよ？ ほら、変なところないでしょ？

……な、なに、いつも変ってー！ そんな事ないよ！

いじわるう。……でも、そんないじわるな君も……好き。大好き。

あいらぶゆー♪ えへへへ。

……だ、だからアルコールはないってば。

そんな心配してくれるのは嬉しいけど、本当に大丈夫だから。

ただちよっとだけ……今日は……君が愛しいんだよね。いつも愛しいけどさ。

何でだろう。遠くにいるからかなあ。すぐに会えないからかなあ。

あ、なんか……すごく寂しくなってきた。

もつと喋って。もつと話しかけて。……もつと……温もりをください。

……、……あは♪ そんなに好き好きって言わなくてもお……♪

私も大好きだよ？ うん、好き好き♪

どうしよう。長野に来てから……君成分が足りなさ過ぎて、

電話で満足できないよ。君に会いたい。君を見たい。君と……ふれあいたい。

全身で君を感じたい。風みたくに、君を浴びたい。ああ、おかしくなりそう。

うう。私、ね。君を困らせないように頑張って……ここにいる間は、

想いを留めようって考えてたんだ。

## 5 無題の日

電話をかける前まで大丈夫なんだけど、でも、うん……こうして声を聴くと、もうダメだね。頭の中に君の音がぼわーって広がって……幸せになって、気持ち良くなっちゃうの……。君しか考えられなくなるの。

一秒、一時間、一日……時計の針が進めば進むほど……君への「好き」が、積み重なっていつてるような……そんな錯覚に陥って。

錯覚じゃないのかな？　これが現実なのかな……？

……なんて幸福な現実なんだろう。

……。

君には依存しないと決めたあの日から……

君と対等になろうと努力すればするほど、どんどんどんどん、

なんて素敵なひとなんだろうって、とっても魅力的なひとに見えるんだ。

君はいつも謙遜するけど、その度に私、そんな事ないよって本心から思ってる。

ねえ。

情けない弱音、吐いていい？

……ありがとう。

……足りない。足りないんだよ。

私の気持ちはまだまだ君に追いつけないの。だから……わがままだけど、待ってほしい。私が君と同じ目線に立てるまで、待ってほしいんだ……。

君は眩しすぎて、私は足が遅すぎて……このままだと挫けちゃいそう。

君を追いかければ追いかけるほど、君の見る私が何者か分からなくなっちゃう。

ねえ、教えて。

私は、黒崎愛は……君にとって、何ですか……？

……。

……ああ。

(キス)

だあいすき……、きょうは……君に酔わせて。お願い……。

(コール音)

はい。君の黒崎です。ただいま電話に出られません。

ごめんね。本当にごめんね。すぐにかけ直します。

(コール音)

はい。君の黒崎です。ただいま電話に出られません。

ごめんね。本当にごめんね。すぐにかけ直します。

(コール音)

ラストコール

……愛だよ。こんばんは。

昨日はごめんね。ちよつと……出られなくて。

不在着信……すごかった。

……どうして謝るの？　……迷惑なんて、そんな。大丈夫だよ。

え？　なにが？　……変って？　私が？

そうかな。まあ、そうかもね。気にしないでくれていいよ。

うん。心配ありがと。

……もう、切っていいかな？　うん。ごめんね。

……怒ってなんかいいよ？　どうして私が怒るの。

何か悪い事でもしたのかな。

ううん、思っていないよ。君の事、信じてるもん。

……そんなに焦ってどうしたの？　君いつも落ち着いてるのに、やけに慌ててない？

ほら、調子が悪いなら早く寝た方がいいよ？

……大丈夫そうな声には聞こえないけど？

え？ ああ、うん、今はもう東京に帰ってきてるよ。

お昼にはもうついてたから。

そんな事より、ほら、もう寝なつてば。

明日はバイトの日でしょ？ 夜更かしは身体に毒だからね。

一人暮らしだからってさ、自分のペースで生活しすぎだよ。

じゃあね、バイバイ。

(ぶつつ)

……。

……。

……。

(着信音)

なんで電気がついてるのかな。

寝なさいって、言ったでしょ？

……私？

さあ、どこにいるんだろうね。

……。

(ガチャツ)

……もしもし。

電話してる相手が目の前にいるなんて、おかしいなあ。

とってもおかしい。

ふふっ。あはははっ。

……びっくりした？

寂しかった？ 私に嫌われちゃったと思った？

ふふっ。ちょっぴり意地悪だったかな。

まあ、君の意地悪さには負けちゃうよ……でも、やっとこれで……

君に追いつけた気がする……♪

もしもし。ねえ君、驚きすぎておばかさんな顔してるよ。

夢にも思わなかった、って顔。おばかさんみたい。

……ねえ。

好き。

大好き。

抱きしめていい？ それとも抱きしめたい……？

ダメだよ。だって、私たちは同じところに立ってるんだから……。

抱きしめ合わないと……ね？

……ん♪ ……温かい……？ 夏なのに季節外れな言葉だね……。

もう、力強いよ君……私、壊れちゃうよ……。

んー……？ うふふ。昨日はね、君から電話がくるたび……嬉しくて、

ずっとドキドキしてた。通話ボタンを押したくてたまらなかったよ。

でも、この為に頑張ったよ。私だってやる時はやるでしょ……？

私、不器用だから……こんなやり方しか思いつかなくて。

……ラストコールだと思った？

えへへ。大外れです。……これからも、ずっと……ずうっと……

一緒だよ……愛してるもん……。

(終)